

第 1 1 章 農地造成工

1 1-1	刈払	1 1-1
1 1-2	集積	1 1-2
1 1-3	レーキドーザ抜根・排根	1 1-3
1 1-4	造成工	
(1)	基盤造成	1 1-4
(2)	基盤整地	1 1-5
1 1-5	畑面工	
(1)	耕起深耕	1 1-6
(2)	石礫除去	1 1-8
(3)	土壤改良資材散布	1 1-9
(4)	有機質資材散布	1 1-10
(5)	碎土	1 1-11
(6)	雑物除去（農地造成工）	1 1-12
(7)	畑面植生	1 1-13

第11章 農地造成工

11-1 刈 払

農用地造成工事における、草刈機（肩掛式）及びチェーンソーによる刈払を行う場合に適用する。

1) 数量算出項目

刈払の面積を区分ごとに算出する。

表11-1 数量算出項目区分一覧表

項 目	区 分	樹 量	単 位	数 量	備 考
	草刈機（肩掛式）	草 類	×	ha	
樹木草類混合		○	ha		
チェーンソー	樹 木	○	ha		

①樹量区分

樹量ごとに算出する。

2) 数量算出方法

樹量の算出は次による。

$$\text{樹量 (本} \cdot \text{m} / 10 \text{ a)} = 10 \text{ a 当り本数 (本)} \times \text{樹径 (m)}$$

$$\text{例) } 1,000 \text{ 本} / 10 \text{ a 当り} \times 0.05 \text{ m} = 50.0 \text{ 本} \cdot \text{m} / 10 \text{ a}$$

11-2 集積

人力刈払後、伐採した樹木等を集積する場合に適用する。

1) 数量算出項目

集積の面積を区分ごとに算出する。

表11-2 数量算出項目区分一覧表

項目 \ 区分	疎密	単位	数量	備考
樹木	○	ha		
萱等	○	ha		

①疎密区分は、下表のとおりとする。

項目 \ 区分	疎密区分
樹木	疎生
	中生
	密生
萱等	疎生
	密生

11-3 レーキドーザ抜根・排根

農用地造成工事において、レーキドーザにより立木や切株を抜き取り、所定の排根場所に集積する作業に適用する。

1) 数量算出項目

抜根、排根を行う面積を区分ごとに算出する。

表11-3 数量算出項目区分一覧表

項目 \ 区分	平均樹径	樹木密度	作業条件	単位	数量	備考
抜根	○	○	○	ha		
排根	×	○	○	ha		

①平均樹径区分

平均樹径を算出する。

②樹木密度区分

樹木密度を算出する。

③作業条件区分

作業条件区分は、下表のとおりとする。

作業条件区分
良好
普通
不良

2) 数量算出方法

樹木密度は、樹径（根元径）5cm以上の切株及び立木等のha当りの本数（本/ha）である。

平均樹径は、樹径（根元径）5cm以上の切株及び立木等の総断面積を総本数で割り、樹径に換算した値（cm）である。

立木率は、樹径（根元径）5cm以上の切株及び立木等から以下のように算定する。

$$\text{立木率（\%）} = \frac{\text{立木等本数}}{\text{切株本数} + \text{立木等本数}} \times 100$$

稚樹等密度は、根元径5cm未満のものから算定する。

11-4 造成工

(1) 基盤造成

農用地造成工の掘削散土を行う場合に適用する。

1) 数量算出項目

基盤造成の土量を区分ごとに算出する。

表11-4 数量算出項目区分一覧表

項目 \ 区分	土質	作業条件	単位	数量	備考
基盤造成	○	○	m ³		

①土質区分

土質区分は、下表のとおりとする。

土質区分
砂
砂質土
礫質土
粘性土

②作業条件区分

作業条件区分は、下表のとおりとする。

作業条件区分
良好
普通
不良

(2) 基盤整地

農用地造成工事の基盤整地を行う場合に適用する。

1) 数量算出項目

基盤整地の面積を区分ごとに算出する。

表 11-5 数量算出項目区分一覧表

区分 項目	造成畑	土質	整地回数	作業内容	単位	数量	備考
基盤整地	○	○	○	○	ha		

①造成畑区分

造成畑区分は、下表のとおりとする。

造成畑区分
山成畑
改良山成畑
斜面畑
階段畑

山成畑工：関係者の山林等をほぼ現況の地形なりに開墾し、農地を造成する方式。

改良山成畑工：現況の複雑な地形の傾斜地を切盛土によって整形し、全体として傾斜のゆるい農地を造成する方式。

斜面畑工：現況の傾斜が比較的急な山林等をわずかな切盛土によって修正し、樹園地等の農地を造成する方式。

階段畑工：主として急傾斜地に適用され現況斜面地に対し、階段状に農地を造成する方式。

【出典：土地改良事業標準設計第10編農地造成（解説書）P3】

②土質区分

土質区分は、下表のとおりとする。

土質区分
粘性土
砂質土

③整地回数区分

整地回数を算出する。

④作業内容区分

作業区分は、下表のとおりとする。

作業内容区分
基盤造成後の整地
耕起後の整地

11-5 畑面工

(1) 耕起深耕

リッパドーザの耕起または深耕を行う場合に適用する。

1) 数量算出項目

耕起、深耕の面積を区分ごとに算出する。

表 11-6 数量算出項目区分一覧表

区分 項目	短辺長	土質	掛回数	傾斜	耕起深	作業 条件	単位	数量	備考
耕起・深耕	○	○	○	○	○	○	ha		

①短辺長区分

ほ場の短辺長を長さごとに算出する。

②土質区分

土質区分は、下表のとおりとする。

土質区分
砂質土
粘性土

③掛回数区分

掛回数区分は、下表のとおりとする。

掛回数区分
1回掛
2回掛
3回掛

④傾斜区分

ほ場の傾斜区分は、下表のとおりとする。

傾斜区分
0～4° 未満
4° 以上

⑤耕起深区分

耕起深区分は、下表のとおりとする。

耕起深区分
60cm 未満
60cm 以上

⑥作業条件区分

作業条件区分は、下表のとおりとする。

作業条件区分
良 好
普 通
不 良

(2) 石礫除去

石礫除去（人力）…ほ場面又は造成面に露出している石礫を、人力で除去する場合に適用する。

石礫除去（機械）…除礫用機械（ストーンローダ0.4m³級）により石礫を除去する場合に適用する。

1) 数量算出項目

石礫除去の数量を区分ごとに算出する。

表 11-7 数量算出項目区分一覧表

項目 \ 区分	除去量	土質	乾湿区分	単位	数量	備考
人力	○	×	×	ha		
機械	×	○	○	m ³		

①除去量区分

除礫量を10a当りで、算出する。

②土質区分

土質区分は、下表のとおりとする。

項目	土質区分
機械	砂質土
	粘性土

③乾湿区分

乾湿区分は、下表のとおりとする。

項目	乾湿区分
機械	乾燥
	普通
	湿潤

2) 数量算出方法

機械による数量の算出は、以下の方法によるものとする。

除礫量数量 (m³) = 除礫施工深 × 除礫施工面積

(3) 土壤改良資材散布

農用地造成工事の土壤改良材散布を行う場合に適用する。

1) 数量算出項目

土壤改良資材散布の面積を区分ごとに算出する。

表 11-8 数量算出項目区分一覧表

項目 \ 区分	散布量	短辺長	長辺長	土湿	土質	傾斜	作業条件	単位	数量	備考
土壤改良資材散布	○	○	○	○	○	○	○	ha		

① 散布量区分

散布量を、ha当り散布量ごとに算出する。

② 短辺、長辺長区分

ほ場の短辺、長辺長を長さごとに算出する。

③ 土湿区分

土湿区分は、下表のとおりとする。

土湿区分
乾燥
湿潤

④ 土質区分

土質区分は、下表のとおりとする。

土質区分
砂
砂質土
粘性土

⑤ 傾斜区分

ほ場の傾斜を算出する。

⑥ 作業条件区分

作業条件区分は、下表のとおりとする。

作業条件区分
良好
普通
不良

(4) 有機質資材散布

農用地造成工事の有機質資材散布を行う場合に適用する。

1) 数量算出項目

有機質資材散布の面積を区分ごとに算出する。

表 11-9 数量算出項目区分一覧表

項目 \ 区分	散布量	短辺長	長辺長	単位	数量	備考
有機質資材散布	○	○	○	ha		

① 散布量区分

散布量を、ha当り散布量ごとに算出する。

② 短辺、長辺長区分

ほ場の短辺長、長辺長を長さごとに算出する。

(5) 碎 土

農用地造成工事のロータリ（直装式）による耕起及び碎土を行う場合に適用する。

1) 数量算出項目

耕起、碎土面積を区分ごとに算出する。

表11-10 数量算出項目区分一覧表

項目 \ 区分	作業条件	短辺長	長辺長	掛回数	土湿	土質	傾斜	単位	数量	備考
耕起	○	○	○	○	○	○	○	ha		
碎土A	○	○	○	○	○	○	○	ha		
碎土B	○	○	○	○	○	○	○	ha		

①作業条件区分

作業条件区分は、下表のとおりとする。

作業条件区分
良 好
普 通
不 良

②短辺、長辺長区分

ほ場の短辺、長辺長を長さごとに算出する。

③掛回数区分

掛回数区分は、下表のとおりとする。

掛回数区分
1 回掛
2 回掛

④土湿区分

土湿区分は、下表のとおりとする。

土湿区分
乾 燥
湿 潤

⑤土質区分

土質区分は、下表のとおりとする。

土質区分
砂
砂質土
粘性土

⑥傾斜区分

ほ場の傾斜を算出する。

(6) 雑物除去（農地造成工）

農用地造成工事の雑物除去を行う場合に適用する。

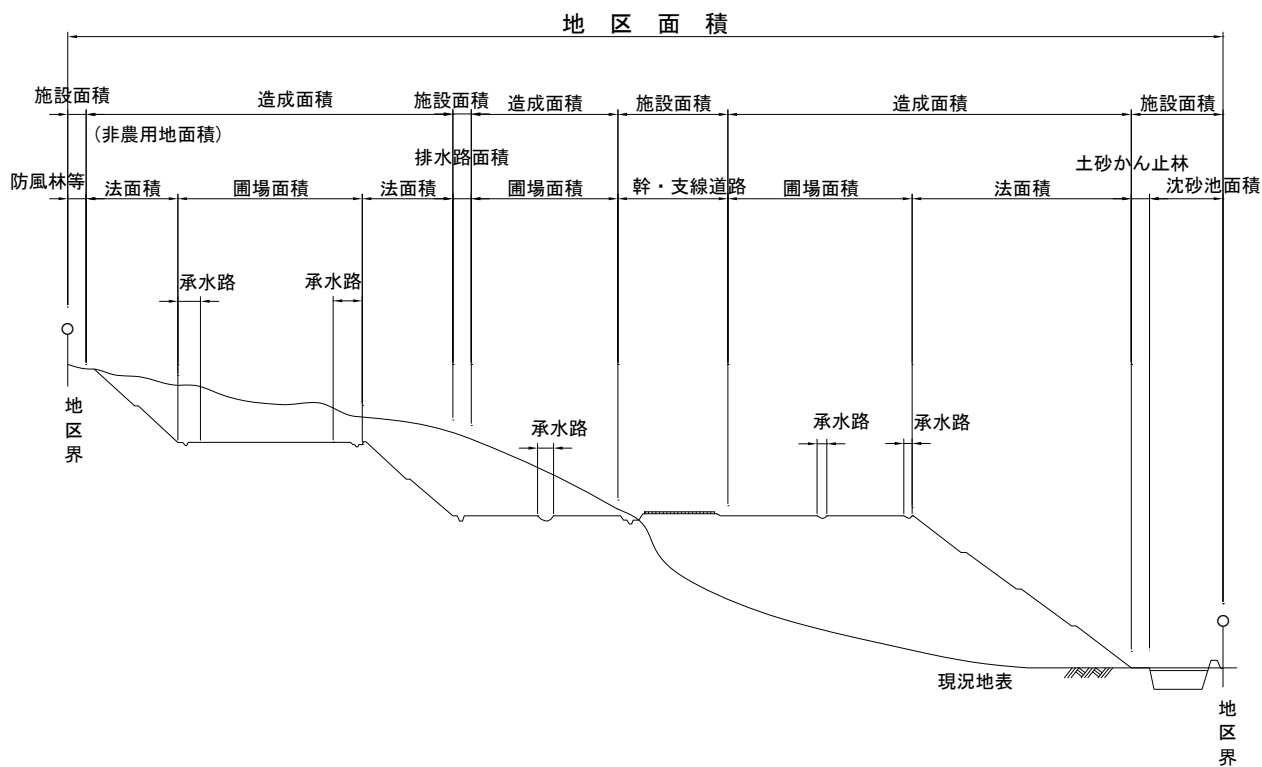
1) 数量算出項目

雑物除去の面積（造成面積）を区分ごとに算出する。

表 11-11 数量算出項目区分一覧表

項目	区分	施工区分	単位	数量	備考
雑物除去		○	ha		

面積区分図



【出典：土地改良事業標準設計第10編農地造成（解説書）P6】

(7) 畑面植生

種子の人力散布を行う場合に適用する。

1) 数量算出項目

畑面植生の面積を区分ごとに算出する。

表 11-12 数量算出項目区分一覧表

項目 \ 区分	施工区分	単位	数量	備考
畑面植生	○	ha		

